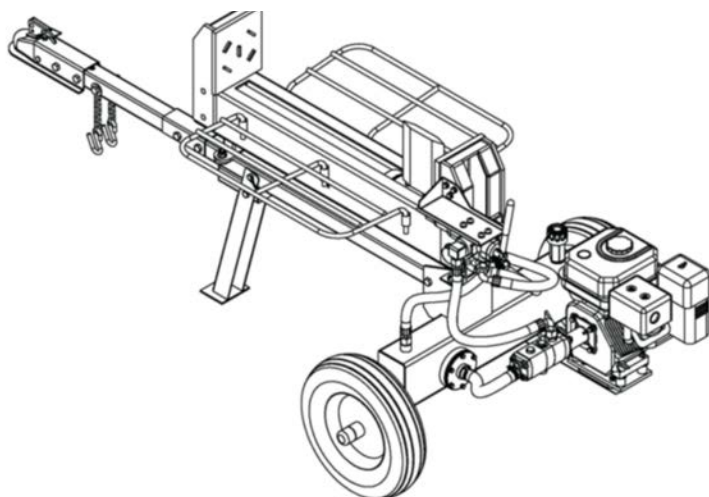


HiAGE

薪割り機

取扱説明書

HG-MKWR18WT



もくじ

はじめに	2
安全にお使いいただくために	3
各部の名称	5
組立	6
操作手順	15
点検・整備の仕方	20
保管	22
故障と思ったら	23
主要諸元	24
お客様相談窓口	25
部品表	26

はじめに

このたびは薪割り機をお買いあげいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

警告

誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



取扱においてその行為を禁止します。



指示に基づく行為を強制します。

本機を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために



操作上の注意点

- ・本機の上に乗らないでください。
- ・子供が本機に登らないように注意してください。
- ・本機を最良の状態で作動させるために、始動前点検を行ってください。
- ・部品に損傷や摩耗がある場合は、速やかに新しい部品に交換してください。
- ・使用する前に、各部のネジに緩みがないか確認してください。
- ・製品の最大破砕力を超えて使用しないでください。
- ・本機を移動する際は、地面の大きな穴、溝を避けてください。
- ・平坦で固い地面に薪割り機を設置してください。
- ・昼間または視界の良い明るいところで作業して下さい。

切断や圧迫の危険があります

- ・本機を操作中は、作動している部品から手や足を離してください。
- ・作業場所は、割った木などの整理・整頓を心がけてください。
- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。

作動油は高圧・高温になり、危険です

- ・本機が作動中は、作動油が高圧、高温になります。油圧システムからの作動油漏れは、重大な事故に繋がります。
- ・定期的に、油圧システムに作動油の漏れがないか点検・検査をしてください。システムに圧力があるときは、絶対に手で点検しないでください。

取扱説明書に記載している警告、注意、および手順は、起こるかもしれないすべての可能な条件または状況をカバーすることはできません。取扱説明書に記載されていない危険事項についても、臨機応変に対応してください。

組立が必要です

この製品は使用の前に組立を必要としています。手順については「組立」をご覧ください。この製品は、重量物のため、組立を補助する人と、大人2人で組立てください。部品に不足、破損がないことを確かめてください。

安全にお使いいただくために

18トンのデュアルアクション薪割り機について

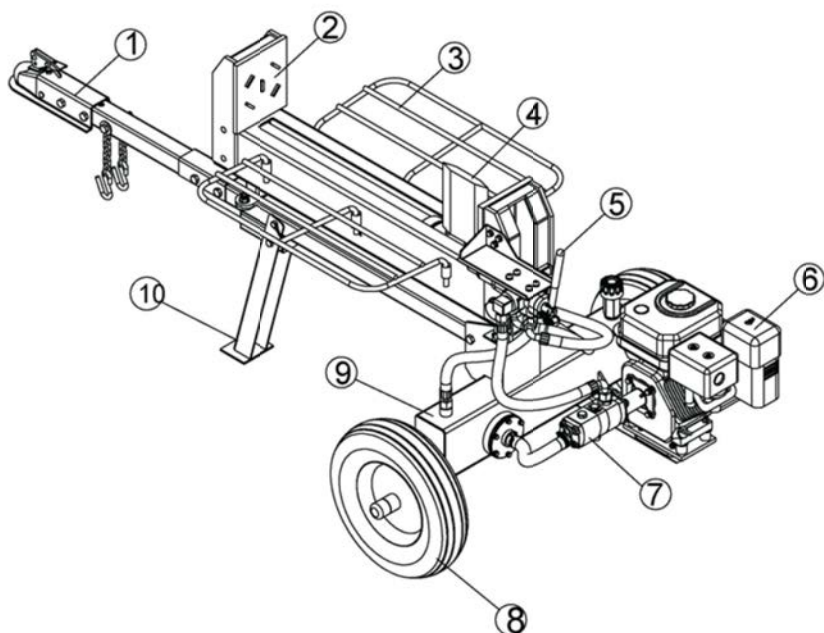
このデュアルアクション薪割り機は、高耐久性の鉄骨構造で18トンの破砕力を持っています。

この製品は革新的なデュアルアクションの設計により、薪割り作業が半分の時間に短縮できます。カッターの往路だけでなく復路でも薪を割ることで、従来の薪割り機に比べて倍の早さで薪割り作業が出来ます。

この薪割り機には、オプションで十字カッターを取り付けることができます。これにより、効率の良い薪割り作業ができます。

本製品の上の技術仕様はこのマニュアルの「仕様」を参照してください。

各部の名称



- | | |
|------------|----------------------------------|
| ①2インチ カプラー | 薪割り機をけん引車に連結するための接続部品 |
| ②ビーム/シリンダ | 油圧シリンダ 口径 3.54インチ ストローク 21.85インチ |
| ③ログ架台 | 割った薪を保持します |
| ④カッター | 両方向動作で薪を割ります |
| ⑤コントロールレバー | カッターの前進、後進を操作します |
| ⑥ガソリンエンジン | 212cc (7HP) |
| ⑦油圧ポンプ | 油圧オイルを送り出します |
| ⑧ホイール/タイヤ | 16インチ×6.5インチ |
| ⑨油圧タンク | 約8.5Lの作動油が入ります |
| ⑩脚 | 操作するときは、脚を降ろし本機を固定します |

組立



- ・組立と操作にあたり、取扱説明書をよく読んでください。
- ・本機を正しく組み立ててください。間違った組立は、操作者、周囲の人が重傷に結びつく可能性があります。また、機器が故障を起こすことがあります。

エンジンオイルは入っていません。

- ・エンジンを始動させる前に、SAE10W30モーターオイルを入れてください。

作動油は入っていません。

- ・作動油を追加する時に、油面が作動油タンクの天井面から1メモリ下まで補給してください。

使用作動油 10W AW32, ASLE H-150 or ISO32

薪割り機の部品がそろっていることを確認してください。

- ・部品に不足がある場合は、弊社までご連絡ください。

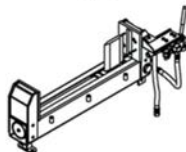
- ・平坦で固い地面に、木枠梱包品を置いてください。
- ・組立作業は、2人で行ってください。
- ・木枠梱包から、すべての部品を取り出し、部品に不足がないか確認してください。
- ・ステップ1からステップ7の手順に沿って組み立てます。

組立に必要な道具

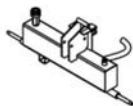
- ・ゴム製、または木製のハンマー
- ・13mm、14mm、19mmスパナ
- ・大きなアジャスタブル・レンチ
- ・プラスドライバー
- ・ペンチ

組立

Beam Assembly
1 pc



Oil Tank Assembly
1 pc



Wheel Assembly
2 pcs



Engine
1 pc



Tow Bar I
1 pc



Tow Bar II
1 pc



Support Leg
1 pc



Log Cradle
2 pcs



Hex Bolt M12x80
2 pcs



Hex Bolt M12x75
2 pcs



Hex Bolt M10x75
1 pc



Hex Bolt M12x35
2 pcs



Hex Bolt M8x30
4 pcs



Hinge Pin
1 pc



R Pin
1 pc



Lock Pin
1 pc



Hexagon slotted
Nut M20
2pcs



Cotter pin
4 pcs



O Ring Ø11.2x2.4
2 pcs



Flat Washer Ø10
1 pc



Flat Washer Ø20
2pcs



Flat Washer Ø12
6 pcs



Lock Washer Ø8
4 pcs



Nylon Lock
Nut M10
1 pc



Nylon Lock
Nut M8
4 pcs



Nylon Lock
Nut M12
6pcs



Seal Belt
1pc

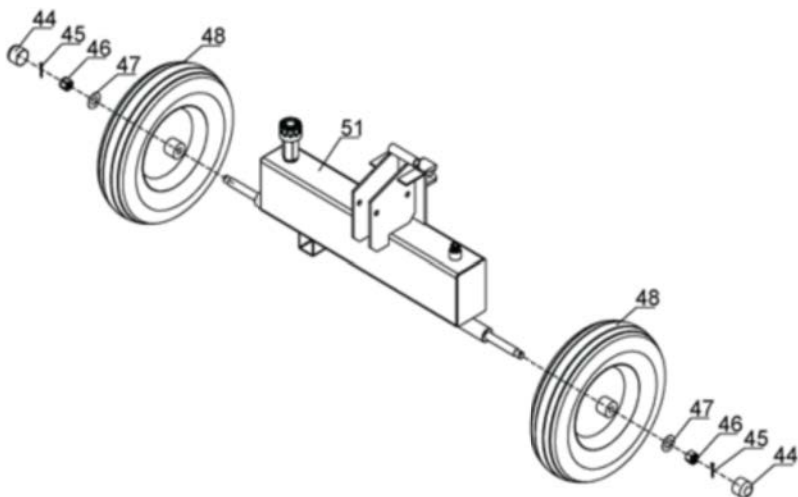


組立

ステップ1:

タイヤをオイルタンクに取り付けます。

1.左右のタイヤ(#48)をオイルタンク(#51)に差し込み、平座金Φ20(#47)を通して、スロッド・ナットM16(#46)を締め、止めピンΦ3x30(#45)、および車軸キャップ(#44)をはめます。

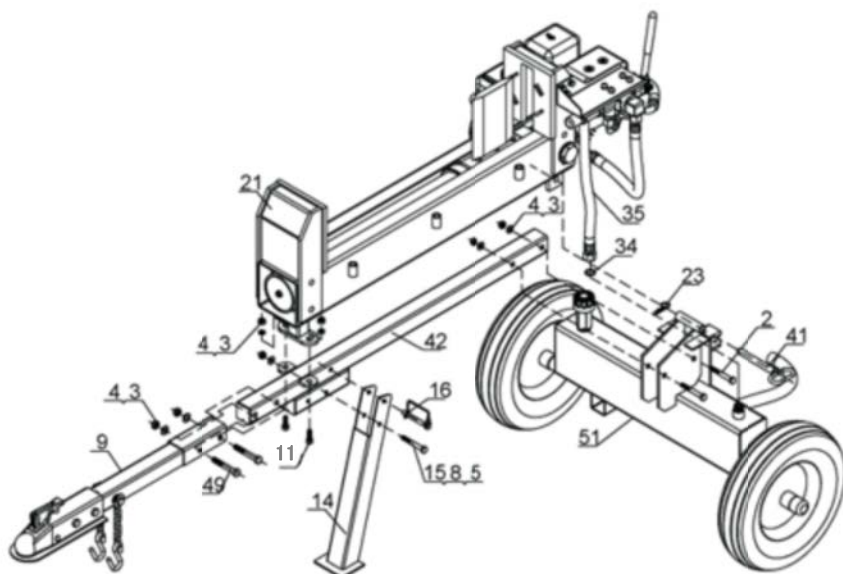


組立

ステップ2:

メイン・フレームをオイルタンクに取り付けます。

- 1.けん引棒(#42)に、六角ボルトM10x75(#15)、平座金Φ10(#8)、およびナイロンロックナットM10(#5)を使って、足(#14)を取り付けてください。
- 2.ロックピン(#16)をけん引棒(#42)に挿入し、足(#14)を固定してください。
- 3.けん引棒(#42)を、六角ボルトM12x80(#2)、平座金Φ12(#3)、およびナイロンロックナットM12(#4)を使って、オイルタンク(#51)に取り付けてください。
- 4.ビームアセンブリ(#21)の片側をヒンジ・ピン(#41)とRピン(#23)を使って、オイルタンク(#51)に取り付けてください。
- 5.ビームアセンブリ(#21)を、六角ボルトM12x35(#11)、平座金Φ12(#3)、およびナイロンロックナットM12(#4)を使って、けん引棒(#42)に取り付けてください。
- 6.オイルタンクコネクタの-slotの上にOリングΦ11.2x2.4(#34)を置き、そして、油圧のホース(#35)をオイルタンクコネクタに接続してください。
- 7.六角ボルトM12x75(#49)、平座金Φ12(#3)、およびナイロンロックナットM12(#4)を使って、前のけん引棒(#9)をけん引棒(#42)に取り付けてください。

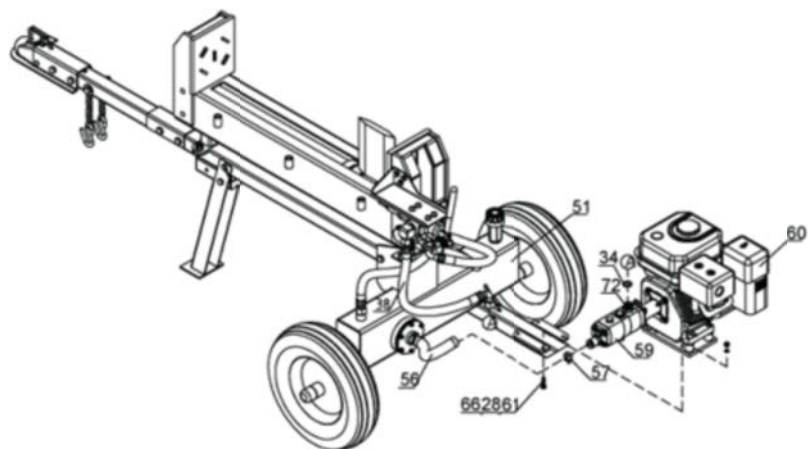


組立

ステップ3:

エンジンの取付けます。

- 1.エンジン(#60)を、六角ボルトM8x30(#66)、ロックワッシャΦ8(#28)、およびナイロンロックナットM8(#61)を使って、オイルタンクに取り付けてください。
- 2.オイルパイプ(#56)とクランプ(#57)をオイルポンプ(#59)に取り付けてください。クランプ(#57)を締めてください。
- 3.コネクタNPT1/2「-7/8」(#72)にOリングΦ11.2x2.4(#34)を入れ、油圧ホース(弁装置ポンプ)(#38)に接続してください。

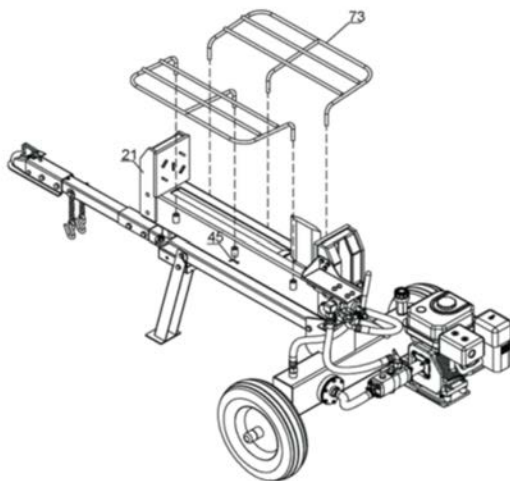


組立

ステップ4:

薪受け台の取付けます。

1. 薪受け台(#73)を、止めピンΦ3x30(#45)を使って、ビームアセンブリ(#21)に取り付けてください。



組立

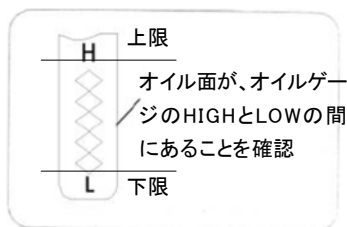
ステップ5:

エンジンオイルを補給してください。(0.55L※点検時にオイルが残るため必ず以下の方法で補給してください。)

- 1.本体が水平になっていることを確認してください。
- 2.オイル給油キャップを外します。
- 3.新しいエンジンオイルを、上限位置を超えないように、補給してください。
- 4.オイル給油キャップを締めます。

使用オイル SAE10W30

- 5.エンジンを始動するの前には必ず、エンジンオイルの量をチェックし、不足の場合は補給してください。



⚠ 注意

- ・慣らし運転期間の間、こまめにエンジンオイル量をチェックしてください。
- ・エンジンオイルを適切な量まで補充するまでは、エンジンを始動しないでください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼き付けを起こします。エンジンオイルの量が適切でない状態で始動した場合は、保証の対象外となります。

ステップ6:

ガソリンを補給してください。

- 1.無鉛ガソリンを使用してください。
- 2.オイルを燃料と混ぜないでください。
- 3.燃料キャップを開け、ゆっくり、燃料タンクに燃料を給油してください。燃料を燃料タンク口元まで入れないでください。
- 4.燃料キャップを閉めてください。燃料がこぼれた場合は、必ず拭き取ってください。

組立



警告

- ・エンジンから排出される排気ガスには、無色、無臭な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと中毒死する可能性があります。
- ・通気がよく、常に換気の出来る場所、屋外で使用してください。
- ・屋内など換気の悪い場所では使用しないでください。
- ・排気ガスが、窓や、ドア、隙間などから屋内などに入らないように注意してください。
- ・屋内など通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まり、大変危険です。



注意

- ・燃料は、火災や爆発など、重大な事故の原因となります。
- ・給油するときに、安全確認を怠ると、火災や爆発の危険があります。
- ・燃料は、無鉛ガソリンを使用してください。
- ・燃料給油時、熱、火、またはスパークを遠ざけてください。
- ・ガソリンにオイルを混ぜた燃料は使用できません。
- ・燃料は、タンクの口元まで一杯に入れないでください。
- ・屋内など通気の悪い場所で、また、エンジンが熱い間は、給油しないでください。
- ・給油中は、タバコを吸ったり、火気を近づけたりしないでください。

ステップ7:

作動油を補給してください。

- 1.平坦で固い地面に薪割り機を設置し、タイヤに輪止めをかけてください。
- 2.作動油タンクのオイルキャップを開けてください。
- 3.7.2Lの油圧作動油 10WのAW32、ASLE H-150ISO32を使用してください。工場出荷時に作動油が少し残っている場合があります。上限を超えないように補給してください。入れすぎは故障の原因になります。
- 4.作動油のオイル量を確認してください。
- 5.油圧システム中の気泡を排出させるため、コントロールレバーでカッターを最上限から最下限まで移動させ、この動作を数回繰り返して下さい。
- 6.カッターを最上限の状態、再び作動油のオイル量を確認し、不足している場合は、補給してください。
- 7.作動油タンクのオイルキャップを閉めてください。

組立



- ・作業油の給油キャップは、エンジンが動いている時や、エンジンが熱い時は、開けないでください。作動油が熱くなっており、やけどをする可能性があります。
- ・作動油の給油キャップを開ける場合は、本体が完全に冷却していることを確認してください。
- ・油圧システムの部品、ホース等の調整、交換するときは、必ずエンジンを停止し、スパークプラグからプラグコードを外してください。
- ・作動油は、動作中は、圧力が高くなり、温度が上がります。作動油は、本体に小さい穴があるとそこから噴出し、人体に甚大な傷害を与える可能性があります。
- ・定期的に、油圧システムに漏れがないか検査をしてください。検査は絶対素手で行わないでください。
- ・怪我をしたときは、直ちに医師の診断を受け、適切な治療を受けてください。
- ・ポンプ、バルブの圧力設定を調整しないでください。
- ・本体を動作させる前に、各部のネジに緩みがなく、安全であることを確認してください。
- ・油圧ホースは、熱くなる部品やカッターの稼働領域から離してください。
- ・本体を動作させる前に、油圧ホースを検査してください。

操作手順



本機を操作する前に、操作手順とすべての安全にかかわる注意事項を十分理解してください。内容に従わないと死亡や重症など重大な障害を負う可能性があります。



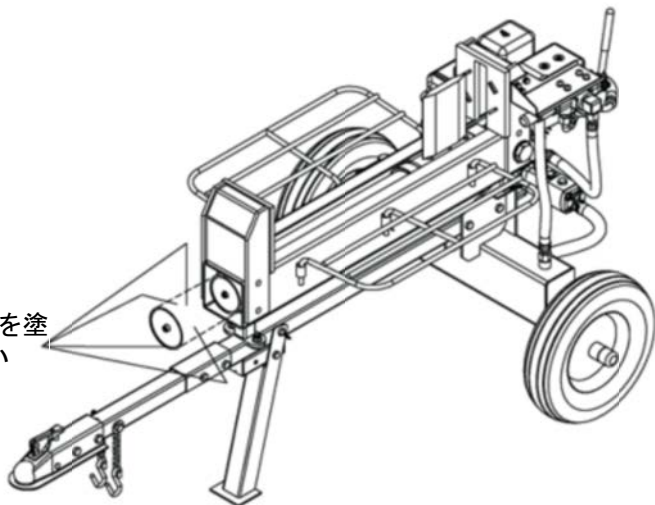
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・丸太を割り、薪を作るために使用してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。当社の保証サービスが受けられなくなります。
- ・コントロールレバーをロープ等で固定しないでください。
- ・屋間または視界の良い明るいところで作業して下さい。
- ・エンジン回転中は絶対に薪割り機を離れないでください。
- ・エンジン回転中は薪割り機を移動しないでください。
- ・薪割り機を移動する場合は、脚を上げてください。
- ・坂道を人力で牽引するのは危険です。
- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、医薬品を服用した状態で操作をしないでください。

操作手順

操作注意

1. 薪割り機の上に、座ったり立ったりしないでください。
2. 作動油の油面をチェックし、油圧ホースとアタッチメントを目視で検査してください。
3. エンジンオイルの量を検査し、燃料が満タンであることを確認してください。
4. ブレードの摺動部分にグリスを注油してください。
5. タイヤの空気圧を検査してください。規定空気圧は1.5kgf/cm²(150Kpa)です。
6. 取扱説明書をよく読んで、理解してください。

表面にグリスを塗
布してください



警告

- ・タイヤの空気圧を規定以上に上げないでください。タイヤが破裂すると重傷に結びつく可能性があります。
- ・タイヤが摩耗していたり、空気圧が適性値でないときは、薪割り機を移動させないでください。

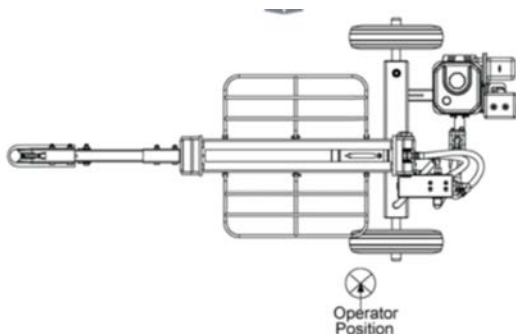
操作手順

7.薪割り機の作業場は必ず清潔、安全を守って下さい。燃えやすい物は必ず離して保管して下さい。足場は、平坦で硬い地面とし、水や氷、雪がないようにして下さい。



警告

作業中に作業者が転ぶ、滑る、一酸化中毒になる、また本体が倒れる、火災になる等の事故がおきないように、本体を設置してください。



注：操作中に、他の人が薪割り機に近づくと、重大事故が発生する可能性があります。操作中は、絶対、他人を薪割り機に近づけないようにして下さい。

8.薪割り機を操作する時は、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。

9.エンジンを始動する前に再度、薪割り機が硬い地面の上に水平に設置されているか確認してください。

注：

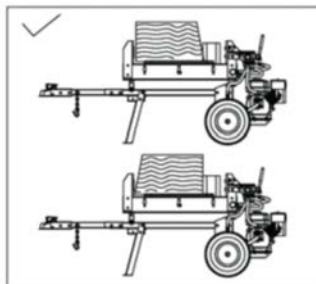
作動油の温度は、 -12°C 以上が必要です。それより低い温度で作動させると油圧ポンプの故障の原因になります。外気温が 0°C 以下の時は、薪割り作業の前に、カターを数回往復させて、作動油を温めてください。

操作手順

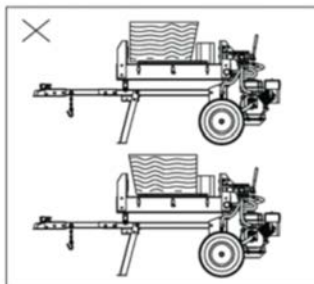
10.作業中に薪割り機が動かないように、必ず脚を下げ、タイヤに輪止めにセットしてください。

11.下図のように丸太を薪割り機にセットしてください。

正しいセットの仕方



間違ったセットの仕方



警告

- ・丸太を薪割り機にセットする際、丸太は樹皮側を持ってください。木口側は持たないでください。
- ・丸太と薪割り機の間には手や身体を挟まないように注意してください。
- ・カッターが動作している間は、丸太に触れないでください。
- ・丸太の裂け目に指を近づけないでください。挟まれることがあります。
- ・エンジンがかかっている間に、ビームを跨いだり、近くに手を持って行ったりしないでください。
- ・薪割り機にセットする前に、丸太は、樹皮に対し、木口が直角になるように切断してください。
- ・木口が斜めになっている状態で薪割り機で丸太を割ると、丸太が滑ったり、過度な力が薪割り機にかかり、故障の原因になることがあります。
- ・一度に複数の丸太を割ろうとすると、破片が飛び散り怪我をする可能性があります。
- ・木目に逆らって割ろうとすると、薪割り機に損傷を与えることがあります。また、破片が飛び散り怪我をする可能性があります。
- ・割れ残った薪は、カッターから取り外し、斧やチェーンソー等でカットしてください。

操作手順

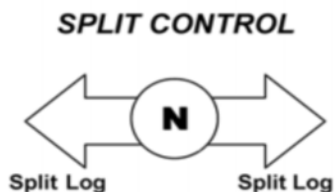
12.手をカッターやセットした丸太など危険な領域から十分離してください。

警告

- ・カッターは、誤った取扱をしたとき死亡や重傷に結びつく可能性があります。
- ・カッターやビームスライドに手を近づけないでください。
- ・操作中に、他の人が薪割り機に近づくと、重大事故が発生する可能性があります。
- ・操作中は、絶対、他人を薪割り機に近づけないようにしてください。
- ・作業がしやすい服を着用して下さい。ネックレス、不適切な服装などは薪割り機の摺動部分に巻き込まれやすいため危険です。
- ・昼間または視界の良い明るいところで作業して下さい。

13.丸太を割るには、片手でコントロールレバーを「FORWARD」へ倒します。

14.別の丸太をカッターの反対側に置き、カッターを戻すために「BACKWARDS」へ倒します。



注意

- ・うまく割れなかった場合、逆方向にカッターを動かし、丸太を取り除いてください。
- ・割れ残った丸太がカッターに食い込んでいる場合は、エンジンを止め、ハンマーかパールを使って取り除いてください。
- ・その場合でも、直接手で触れるような作業をしないでください。

15.作業場は清潔、安全を常に確保して下さい。足を引っかける一切の障害物を撤去して下さい。

16.エンジンを止めた後は、エンジンが熱くなっています。木くずなどが近くにあると火災の危険があります。エンジン、マフラー周辺にある木くずなどは取り除いてください。

点検・整備の仕方



警告

- ・薪割り機は正しいメンテナンスを行ってください。間違ったメンテナンスは保証サービスを一切受けられなくなります。
 - ・薪割り機の調整や修理をする前に、必ずエンジンを止め、点火コードを外し、油圧を下げてください。
 - ・油圧は、コントロールレバーを前後に数回動かすことで、下げることができます。
-
- ・メンテナンスを実施するときは、メンテナンスモードにしてください。
 - ・必ずエンジンを止め、点火コードを外し、油圧を下げるために、コントロールレバーを前後に数回動かしてください。
 - ・メンテナンス終了後、すべてのガード、シールド、及び安全機構が正しく戻されているか確認してください。
 - ・タイヤの空気圧が適性値になっていることを確認してください。
 - ・定期的に、車軸やホイールベアリングに注油してください。
 - ・作動油を年1回または使用100時間ごとに交換してください。
 - ・定期的に、油漏れがないか、油圧ホースと留め金具を点検してください。
 - ・年1回、摺動部分をきれいにし、注油してください。
 - ・薪割り機の金属の塗料がはがれた場合、エナメル塗料で補修してください。
 - ・18トンを超えて使用しないでください。故障の原因になります。
 - ・50時間ごとに、カッター、ビームを検査してください。
 - ・必ずエンジンを停止してから、点検、掃除をしてください。

点検箇所	点検頻度	点検方法
油圧ホース	使用前	漏れ、傷、摩耗があった場合は、新しいホースに交換
油圧機器	使用前	漏れ、傷があった場合は、新しい機器に交換
ボルト ナット	使用前	緩みを点検、緩んだボルトは増締め
ビーム	使用前	表面にグリスを塗布
摺動箇所	使用前	おが屑などをふき取る

点検・整備の仕方

作動油の交換 年1回 または 100時間毎

- 1.油圧タンクのドレインプラグを緩め、作動油を排出します。
- 2.ドレインプラグを締め、新しい作動油を7.2L補給してください。
- 3.作動油計がFULLをさしていることを確認してください。
- 4.使用後の作動油は各自自治体の回収方法に従ってください。



- ・使用した作動油等は、正しい方法で処理してください
- ・地面に直接廃棄しないでください。

重要事項:

部品交換は、純正部品を使用してください。純正部品以外の部品をお使い頂いた場合、性能が低下し、安全上の問題が発生する可能性があります。

保管

注意

薪割り機を正しい方法で保管してください。 誤った方法で保管した場合、保証サービスを受けられないことがあります。

- ・ロッドを錆から保護するために、使用後は、カッターを完全に収納してください。
- ・薪割り機を保管する前に、少なくとも5分間冷やしてください。 エンジンやマフラーなどが熱くなっており火災の危険があります。
- ・薪割り機を掃除し、乾燥させてください。
- ・錆防止のため、摺動部分に注油してください。
- ・ホコリ、湿気の少ないところ、火気の少ないところに保管してください。

注意

ガソリンは、保管中に劣化することがあります。
古くなったガソリンは、エンジンがかかりにくくなったり、燃料系統が詰まったりします。
ガソリンは数か月で劣化します。

警告

燃料タンクからガソリンを抜き取る時は、通気がよいところで行ってください。
火気を近づけないでください。
こぼれた燃料はすぐにふき取ってください。

故障と思ったら



警告

機械が故障と思われるときは、まずご下表を参考に点検・修理を行ってください。各摺動部分や高圧油圧系統、力自身ッター等は、火傷、切傷など重傷に結びつく可能性があるため、安全には十分注意してください。

現象	原因
シリンダロッドが動かない	A D E H J
シリンダの動作速度が遅い	A B C H I K L
割れない、割れるのにし時間がかかる	A B C F I K
途中でエンジンが止まる	G
負荷が少ない状態でエンジンが止まる	D E

原因	解決策
A 油圧が不足している	作動油の油量を確認してください
B 作動油に空気が混入している	作動油の油量を確認してください
C 過度に圧力が高い	ホースの曲がり、潰れを確認してください
D 油圧配管の詰り	油圧配管を洗浄してください
E バルブの詰り	油圧装置を洗浄してください
F 調圧弁が低く設定	圧力計で調整弁を調整してください
G 調圧弁が高設定	圧力計で調整弁を調整してください
H 調圧弁が損傷	新品の調整弁に交換してください
I 調圧弁オイル漏れ	新品の調整弁に交換してください
J シリンダピストンが損傷	新品のシリンダーに交換してください
K シリンダ内部が損傷	新品のシリンダーに交換してください
L サクションホースからエア漏れ	サクシジョンホースの留め具を確認してください

主要諸元

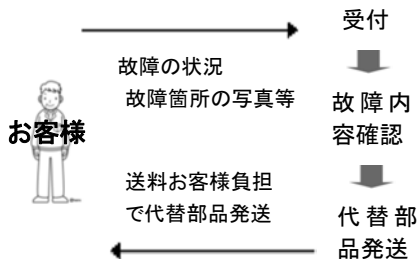
粉碎力	前進18トン、後退14.4トン
サイクル時間	13 Sec
カッターサイズ	7.48インチの焼入鋼
油圧シリンダ	3.54インチ × 21.85インチ
歯車ポンプ	2- ステージ
作動油	10W AW32、ASLE H-150、またはISO32
作動油量	7.2L
油圧タンク容量	8.5L
最大圧力	3700 PSI
最大フロー	7.7 GPM (29.2 L)
最大ログ長	23.6"
ホイールサイズ	16インチ × 6.5インチ
空気圧	1.5kgf/cm ² (150Kpa)
全寸法(L x W x H)	85.04" x 40.55" x 36.22" (216x103x92cm)
エンジン出力	6.5 Hp
スパークプラグ	NGK BPR7ES または DENSO W22EPR-U

お客様ご相談窓口

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

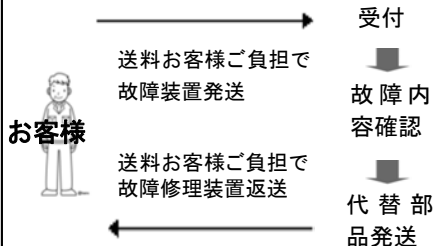
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理、部品に関するご相談

修理、部品を依頼される時は下記の事項をご連絡ください。

- ① 故障の状況
- ② 型式
- ③ ご購入サイト、年月日
- ④ お名前、ご住所、電話番号

修理 使い方などのご連絡窓口

お問い合わせ窓口

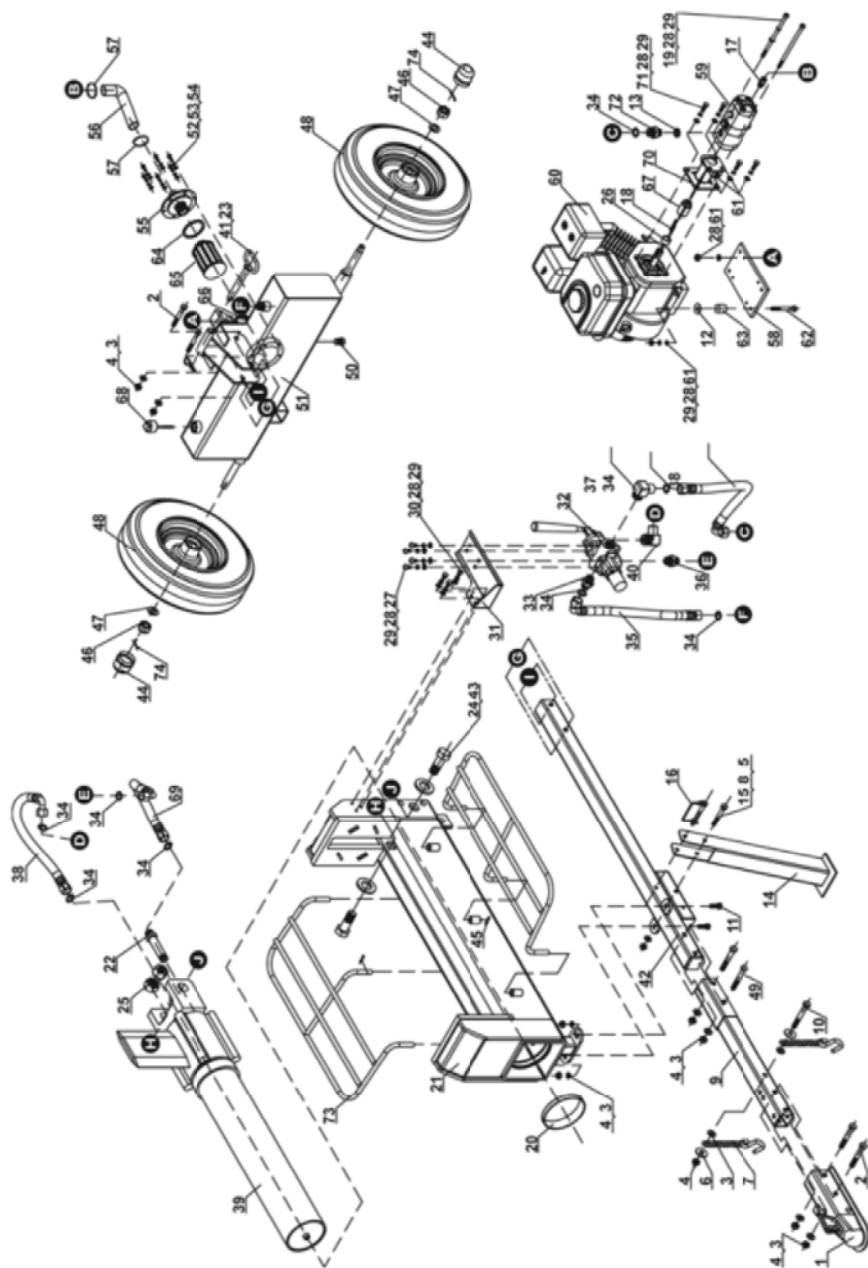
TEL 0276-55-2275

FAX 0276-55-2276

メール support@haige.jp

住所 〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

部品表



部品表

Part #	Drawing No.	Description	QTY
1	Z103	2" Coupler	1
2	9101-12080-DX8.8	Hex Bolt M12x80	4
3	9301-12000-DX	Flat Washer Ø12	10
4	9206-12000-DX	Hex Nylon Lock Nut M12	9
5	9206-10000-DX	Hex Nylon Lock Nut M10	1
6	9302-12000-DX	Big Flat Washer Ø12	2
7	N290-09000-DX	Hook Chain	2
8	9301-10000-DX	Flat Washer Ø10	1
9	DS25-05000	Front Tow Bar	1
10	9101-12090-DX8.8	Hex Bolt M12x90	1
11	9101-12035-DX8.8	Hex Bolt M12x35	2
12	9302-10000-DX	Big Flat Washer Ø10	4
13	9905-00014	Composite Washer	1
14	DS25-06000	Support Leg	1
15	9101-10075-DX8.8	Hex Bolt M10x75	1
16	NL17-06000-DX	Lock Pin	1
17	DS18-00003	Oil Connector	1
18	N290-17007	Engine Flat Key	1
19	9105-08170-DX8.8	Inner Hex Screw M8x170	2
20	DS18-00001	Cylinder Guide Bushing	1
21	DS18-01000	Beam Assembly	1
22	DS25-00009	Lengthening Connector NPT1/2"-7/8"	1
23	N021-00004	R Pin	1
24	DS18-00002-DX	Connection Pin	2
25	9206-24000-DX	Nylon Lock Nut M24	2
26	N290-17002-DX	Engine Bushing	1
27	9110-08016-DX	Screw M8x16	4
28	9306-08000-DX	Lock Washer Ø8	20
29	9301-08000-DX	Flat Washer Ø8	16
30	9101-08016-DX8.8	Hex Bolt M8x16	3

部品表

Part #	Drawing No.	Description	QTY
31	M2P23B-00002	Mounting Plate	1
32	M2P23B-00001	Control Valve	1
33	DS25-00008	Connector NPT3/4"-7/8"	1
34	GB3452.1/11.2*2.4	O Ring	8
35	DS25-00004	Hydraulic Hose (Valve-Oil Tank)	1
36	N29W-00006-DX	Connector NPT1/2"-7/8"	1
37	N014-00005-DX	Connector NPT3/4"-7/8"	1
38	DS25-00005	Hydraulic Hose (Valve-Gear Pump)	2
39	SPVC90-00000	Cylinder	1
40	N014-00006-DX	Connector NPT1/2"-7/8"	1
41	DS20-03000	Hinge Pin	1
42	DS25-04000	Tow Bar	1
43	9301-24000-DX	Flat Washer Ø24	2
44	NS22-00011-DX	Axle Cap	2
45	9404-3×30-DX	Cotter Pin 3x30	2
46	NS22-00012-FH	Slotted Nut M20	2
47	9301-20000-DX	Flat Washer Ø20	2
48	NS22-08000	Wheel	2
49	9101-12075-DX8.8	Hex Bolt M12x75	2
50	N290-00008-DX	Oil Plug	1
51	DS18-02000	Oil Tank	1
52	9101-06020-DX8.8	Hex Bolt M6x20	6
53	9306-06000-DX	Lock Washer Ø6	6
54	9301-06000-DX	Flat Washer Ø6	6
55	N290-04000-DX	Filter Fix Plate	1
56	DS18-00005	Oil Pipe	1
57	N290-00019	Clamp	2
58	N29N-00001	Engine Connecting Plate	1
59	GP656021-00001	Gear Pump	1
60	GP6527-00001	Engine	1

部品表

Part #	Drawing No.	Description	QTY
61	9206-08000-DX	Hex Nylon Lock Nut M8	9
62	9101-08075-DX8.8	Hex Bolt M8x75	4
63	N294-00005	Block	4
64	N290-00022	Rubber Washer	1
65	N290-00018	Filter	1
66	9101-08030-DX8.8	Hex Bolt M8x30	4
67	LS12-07002	Coupler	1
68	N29W-08000	Oil Bolt	1
69	DS25-00006	Hydraulic Hose (Valve-Cylinder End Cap)	1
70	LS12-07003	Gear Pump Stand	1
71	YZ01-08025-DX8.8 9101-08025-DX8.8	Hex Bolt M8x25	4
72	DS18-00004	Connector	1
73	DS18-03000	Log Cradle	2
74	9404-4x36-DX	Cotter Pin 4x36	2

MEMO

MEMO

Hi Δ ICE

ハイガー産業株式会社